



令和3年度 カコキタ学力向上研究事業 《2学期末報告》

令和3年度から3年間、加古川北高校は、県の「学力向上研究事業」の指定を受けました(県下15校)。「進学型普通科単位制」の特色を生かし、本校をさらに「学びの魅力がある学校」とするため、次のようなテーマ・取組を通して学力向上を目指しています。

1・2学期取組内容(スモールステップ)とそれに対する生徒の評価等をお知らせします。

取組テーマ **主体的な学び:「見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付くプログラム」**

- 取組内容
- ① 最終的到達目標と各時期のスモールステップを設定・提示
 - ② ①の実現に向けた、ICT活用等による指導手法・表現手法の研究
 - ③ 生徒による自己評価を交えた取組の振り返り
- ※ 適宜、研究授業や関係機関との連携(大学教授による講義・助言等)を行う。

各教科等の目標、1・2学期スモールステップおよびそれに対する生徒の評価(アンケート結果)等

	実施科目	目 標	1学期スモールステップ	生徒の評価等	2学期スモールステップ	生徒の評価等
国語科	2年次 現代文B 古典B	ことばに対する自覚的な態度を身に付ける	・教員と生徒が国語の学びにおいて目指すものを共有した上で、思考・表現の型を身に付ける	肯定的評価： 89.5%	・自己の表現を推敲したり、相互に批評したりすることにより、他者との関わり、自らの考えを深めようとする態度を身に付ける	肯定的評価： 89.3%
地理 歴史科	2年次 世界史B	資料読解力を身に付ける	・文献史料の読解力を身に付ける	肯定的評価： 81.0%	・文献史料の読解力を身に付ける	肯定的評価： 83.7%
	2年次 日本史講座		・地図・写真資料の読解力を身に付ける	肯定的評価： 83.7%	・地図・写真資料の読解力を身に付ける	肯定的評価： 94.5%
数学科	1年次 数学I	多角的な解法を通して単元の理解を深める	・主に文献史料の読解力を身に付ける	肯定的評価： 95.7% 定期考査資料問題 正答率：67.6% (目標60%以上)	・文献史料に加え、絵画・地図・写真等の読解力を身に付ける	肯定的評価： 95.7% 定期考査資料問題 正答率：66.1% (目標60%以上)
			・複数の解法が理解できる。	肯定的評価： 81.4%	・複数の解法を理解し、それらを身に付ける。	肯定的評価： 61.4%
理科	2年次 理系生物I	分野融合問題、実験観察問題を解く力を身に付ける	・ICTを活用し、動画・写真・図を示し、生命現象や実験を広い視野でイメージできる力を身に付ける	肯定的評価： 88.9%	・問題演習を行い、グラフや表のデータの読解力を身に付ける	肯定的評価： 86.1% 定期考査実験観察問題 正答率：中間考査44% 期末考査83%
英語科	1年次 コミュニケーション 英語I・ 英語表現I	自分の考えを英語でまとめ発表する力を身に付ける	・まとまった英文を書くために必要な基本的な文法力を身に付ける	肯定的評価： 94.3%	・与えられた課題について、既習の文法事項や辞書を使いながら、自分の考えを英語で表現する(書く)力を身に付ける	肯定的評価： 64.9%
総合的な探求の時間	1年次	目的に応じた表現力を身に付ける	・「進路研究」を通じて、自分が社会にどのように関わっていくか考え、「2分間スピーチ」で自分の主張を相手に伝える表現力を身に付ける	「2分間スピーチ」の 教師による評価平均： 8.0/12点満点	・「ビブリオバトル」「学校改革案選挙」を通じて、相手の心に訴えるような表現力を身に付ける	ビブリオバトル 肯定的評価： 96.5% 学校改革案選挙 肯定的評価： 69.7%
教科横断的な授業	2年次 日本史講座	他教科の学習を活用して理解を深める	・国語(古典)を活用した古代の社会・文化の理解	肯定的評価： 82.6%	・数学(集合)を活用した中世社会の理解	肯定的評価： 78.2%

※ 当該科目の全ての講座で取り組む場合と、研究担当者の講座のみで取り組む場合とがあります。

「授業評価アンケート」等のデータから、1学期に続き生徒の評価は高く、各教科等の目標に応じた授業展開が支持されており、定着してきていることがわかります。

残る3学期も、年間目標の達成→学力向上に向け、計画したスモールステップに基づき取組(研究)を進めていきます。